

中間決算補足説明資料

第22期（2007年3月期）

2006年10月31日

サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

目 次

CYBERNET

- 会社概要、グループ会社概要
- 【連結】 2006年度中間決算の概況
 - 業績の概況
 - セグメント情報
- 【個別】 2006年度中間決算の概況
 - 業績の概況
 - セグメント情報
- 上期トピックス
- 下期に向けての取組み
- 2006年度通期業績予想
- 中長期事業計画レビュー
- 質疑応答

- ◆ 名称：サイバネットシステム株式会社（東証一部4312）
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社：東京都文京区大塚2-15-6
- ◆ 支社：西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ 設立：1985年4月17日
- ◆ 資本金：995百万円
- ◆ 社員数：2006年9月30日現在
連結 397名（前年同期比+49名）
個別 320名（前年同期比+51名）
（グループ計 423名 前年同期比+65名）
- ◆ 事業内容：CAEソリューション及びネットワークソリューションの提供、各種コンサルティングの提供

グループ会社の概要（国内）

(1) 株式会社ケイ・ジー・ティー

事業内容：可視化ソフトウェアの開発・販売
ネットワーク関連ソフトウェアの販売・サポート

資本金：1億円（当社所有比率 100%）

社員数：63名

※連結子会社

(2) 株式会社プラメディア

事業内容：樹脂流動解析、成形解析ソフトウェアの開発・販売、
受託研究、高分子材料の物性・成形性に関わる研究開発、ソフト開発

資本金：45百万円（当社所有比率 95%）

社員数：14名

※連結子会社

(3) 西希安工程模擬軟件(上海)有限公司

(略称：CCA)

事業内容：CAEに関するコンサルティング、受託解析

資本金：250,000USドル（当社所有比率 66%）

社員数：15名

※非連結子会社

(4) 莎益博設計系統商貿(上海)有限公司（2006年10月営業開始）

(略称：CCS)

事業内容：CAE（EDA分野）に関するコンサルティング、
受託解析

資本金：700,000 USドル（当社所有比率 100%）

社員数：11名

※非連結子会社

連結業績の概況

2006年度中間決算の概況

中間決算の概況（2007年3月期）

CYBERNET

（単位：百万円）

	2005年度中間期		2006年度中間期				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	計画	計画比
売上高	8,574	—	9,308	—	108.6%	9,750	95.5%
売上総利益	3,163	36.9%	3,476	37.3%	109.9%	3,665	94.8%
営業利益	1,155	13.5%	1,089	11.7%	94.3%	1,215	89.7%
経常利益	1,215	14.2%	1,258	13.5%	103.6%	1,225	102.7%
中間純利益	710	8.3%	694	7.5%	97.8%	715	97.2%
1株当たり中間純利益	2,270.93円	—	2,195.23円	—	△75.70円	—	—
自己資本比率	65.9%	—	67.2%	—	+1.3%	—	—
1株当たり純資産	26,947.43円	—	30,081.45円	—	+3,134.02円	—	—

- (1) 当中間期は、当社の主要顧客である製造業において、情報化投資への積極的な投資がみられました。このような状況下、当社グループは、当期の業績を固めるとともに、将来を見据えた産学共同研究・開発に積極的に参画してまいりました。
- (2) EDA分野のサービスビジネス拡大を目的とし、2社から事業を譲受けました。
- (3) 中国でのEDAビジネス展開を目的として、上海市に100%子会社CCSを開設しました。10月より営業を開始しております。

損益計算書の概要

CYBERNET

（単位：百万円）

	2005年 中間期	2006年 中間期	前年同期比	計画比	内訳
売上高	8,574	9,308	108.6%	95.5%	
売上原価	5,410	5,832	107.8%	95.9%	商品原価+331、製品製造原価△26、技術サービス原価+117
売上総利益	3,163	3,476	109.9%	94.8%	
販売費及び一般管理費	2,008	2,386	118.8%	97.4%	
営業利益	1,155	1,089	94.3%	89.7%	
営業外収益	61	169	273.9%	1691.5%	資金運用利息等+6、為替差益+99、助成金収入+2
営業外費用	2	0	13.2%	—	
経常利益	1,215	1,258	103.6%	102.7%	
特別利益	—	4	—	—	固定資産売却益+4
特別損失	6	15	—	—	CCA出資金減損処理+13、固定資産除却損△3
税引前中間利益	1,208	1,246	103.2%	102.2%	
法人税、住民税及び事業税	507	587	115.9%	132.4%	
法人税等調整額	△9	△35	361.8%	—	
少数株主損失	—	0	—	—	
中間純利益	710	694	97.8%	97.2%	

販売費及び一般管理費の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	2005年度 中間期	2006年度 中間	増減	前年比	売上比	内容
人件費	967	1,153	185	119.2%	14.3%	増員(サイバネット+35名、KGT+4名、プラメディア+14名)
通信費	70	90	19	127.6%	1.1%	IIJ+11
旅費交通費	100	134	34	134.6%	1.7%	海外開発元への出張増加+18
備品費	52	66	13	126.0%	0.8%	
募集採用費	26	52	25	194.1%	0.6%	採用紹介料、募集広告増加
教育研修費	31	30	△0	98.5%	0.4%	
家賃	135	137	1	101.2%	1.7%	
保守費	19	25	6	132.9%	0.3%	
減価償却費	60	49	△10	82.1%	0.6%	
広告宣伝費	204	228	23	111.4%	2.8%	IR関連ツール作成費+12、HPリニューアル+12
業務委託費	142	154	12	108.7%	1.9%	
支払手数料	93	92	△1	98.9%	1.1%	
のれん償却	—	53	53	—	0.7%	京浜アートワーク+19、KGT+10、プラメディア+23
連結調整勘定償却額	10	—	△10	—	0.0%	KGT△10
その他の経費	92	118	25	127.2%	1.5%	
合計	2,008	2,386	378	118.8%	29.5%	プラメディア+45

中間連結株主資本等変動計算書

CYBERNET

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日 残高	995	909	7,899	△746	9,057	69	69	2	9,128
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△237		△237				△237
役員賞与			△60		△60				△60
中間純利益			694		694				694
自己株式の処分			△38	57	19				19
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△11	△11	△0	△11
中間連結期間中の変動額合計	—	—	359	57	416	△11	△11	△0	404
平成18年9月30日 残高	995	909	8,259	△689	9,473	58	58	1	9,533

自己株式の処分損は、ストックオプション権利行使に対して、自己株式を割当てたことにより発生したものです。

ソリューション別損益の概況

2005年度中間期

(単位：百万円)

	C A EソリューションS			ネットワークソリューションS			全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	7,012	81.8%	—	1,562	18.2%	—	—	8,574	—
営業費用	5,220	—	74.4%	1,470	—	94.1%	728	7,418	86.5%
営業利益	1,791	—	25.6%	91	—	5.9%	△ 728	1,155	13.5%

2006年度中間期

(単位：百万円)

	C A EソリューションS			ネットワークソリューションS			全社	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比	実績	実績	売上比
売上高	7,802	83.8%	—	1,506	16.2%	—	△ 0	9,308	—
営業費用	5,920	—	75.9%	1,447	—	96.1%	850	8,219	88.3%
営業利益	1,881	—	24.1%	59	—	3.9%	△ 851	1,089	11.7%

C A E分野

- 電機・自動車・機械・精密機器業界等の安定した需要により、制御系・機械系・光学系・電子回路設計系のソフトウェア販売が堅調でした。特に、フラットパネルディスプレイ業界における照明解析ソフトウェア及び輝度・照度・色度測定システムの販売が好調でした。
- サービスビジネスは、機械系において、体制整備に注力したものの、顧客の需要に応えるべく、十分な体制が作れず、伸び悩みなしたが、プリント基板設計分野において、事業譲受による体制強化により、サービス収入は増収となりました。
- 可視化ソフトウェアは全体的に引合が弱く、前年実績を割る結果となりました。

ネットワーク分野

- I T資産管理ソフトウェアは堅調でした。
- ソースコード利用権を取得し、新たな立上りを期待した業務改善ソフトウェアは低調でした。
- J-SOX法対応ソフトウェアは、引合顧客の受注が下期にずれ込みました。

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

四半期別の業績

2005年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
売上高	4,400	(—)	4,173	(—)	3,234	(—)	5,590	(—)
売上高構成比	25.3%		24.0%		18.6%		32.1%	
営業利益	678	(—)	476	(—)	△ 56	(—)	1,203	(—)
経常利益	710	(—)	504	(—)	25	(—)	1,307	(—)
税引前中間純利益	710	(—)	497	(—)	23	(—)	1,265	(—)

※ () の比率は前年比

2006年度実績

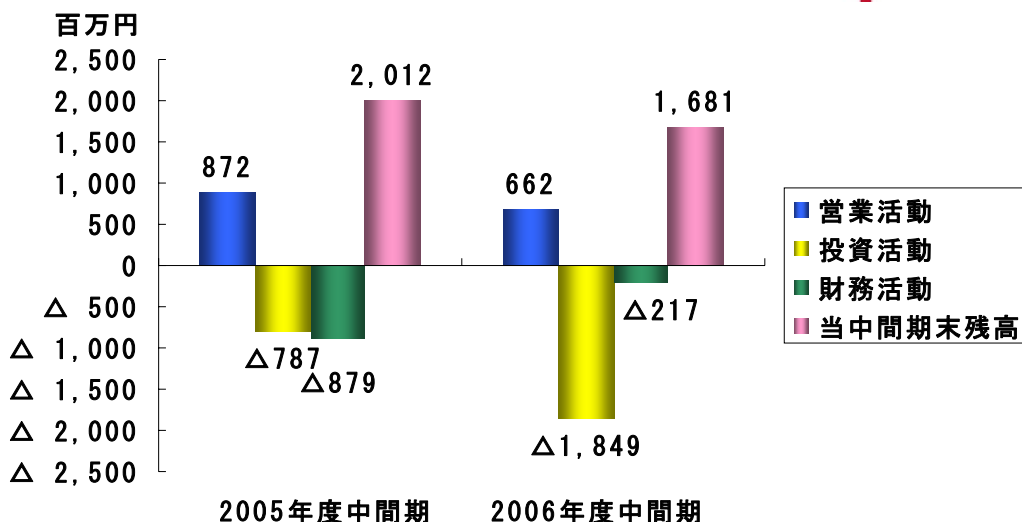
単位：百万円

	第1四半期		第2四半期	
売上高	4,918	(+11.8%)	4,389	(+5.2%)
売上高構成比	25.6%		22.9%	
営業利益	603	(△11.0%)	485	(+1.8%)
経常利益	633	(△10.8%)	624	(+23.8%)
税引前中間純利益	633	(△10.8%)	613	(+23.2%)

※ () の比率は前年比

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの概況



税引前中間純利益	+ 1,246
減価償却費	+ 128
売上債権の増減額	+ 333
仕入債務の増減額	△ 581
法人税等の支払	△ 437

事業譲受による支出	△ 237
資金運用による収入支出	△ 1,413
中国子会社への出資金の支出	△ 80

配当金の支払	△ 236
--------	-------

子会社の中間決算業績の概況

(単位：百万円)

	売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比	経常利益	前年比	計画比	中間純利益	前年比	計画比
サイバネット	8,092	111.0%	98.1%	1,174	100.1%	93.5%	1,326	109.2%	104.7%	764	107.3%	103.9%
ケイ・ジー・ティー	1,123	84.4%	75.9%	△ 56	—	—	△ 32	—	—	△ 34	—	—
ブラメディア	101	—	94.0%	△ 10	—	—	△ 10	—	—	△ 10	—	—

総資産	1.05
総負債	1.17
純資産	0.99
総資本	1.05
売上高	1.15
営業利益	0.93
経常利益	0.95
中間純利益	0.91

子会社の状況

ケイ・ジー・ティーは、可視化ビジネス、ネットワークビジネス共に販売が想定を下回りました。また、J-SOX法の実務指針発表の遅れ等により、支援ツールの販売が下期にずれ込みました。

個別業績の概況

2006年度中間決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

個別業績の概況

損益計算書の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	2005年 中間期	2006年 中間期	前年比	計画比	内訳
売上高	7,291	8,092	111.0%	98.1%	
売上原価	4,368	4,906	112.3%	99.2%	商品原価+420、技術サービス原価+117
売上総利益	2,923	3,185	109.0%	96.4%	
販売費及び一般管理費	1,750	2,011	114.9%	98.1%	※別シート
営業利益	1,172	1,174	100.1%	93.5%	
営業外収益	43	152	352.0%	1269.2%	資金運用利息等+6、為替差益+99、助成金収入+3
営業外費用	1	0	—	—	
経常利益	1,214	1,326	109.2%	104.7%	
特別利益	—	4	—	—	固定資産売却益+4
特別損失	5	15	—	—	CCA出資金減損処理+13、固定資産除却損△2
税引前中間期純利益	1,209	1,314	108.7%	104.2%	
法人税、住民税及び事業税	506	585	115.6%	131.9%	
法人税等調整額	△9	△35	361.8%	—	
中間純利益	712	764	107.3%	103.9%	

販売費及び一般管理費の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	2005年度 中間期	2006年度 中間	増減	前年比	売上比	内容
人件費	824	976	151	118.4%	12.1%	増員35名
通信費	62	82	20	132.8%	1.0%	IJ+11
旅費交通費	87	120	33	138.1%	1.5%	海外開発元への出張増加+18
備品費	47	56	9	119.7%	0.7%	
募集採用費	26	47	21	178.4%	0.6%	採用紹介料、募集広告増加
教育研修費	31	28	△2	92.0%	0.4%	
家賃	117	115	△1	98.4%	1.4%	
保守費	17	24	7	143.7%	0.3%	
減価償却費	57	47	△10	82.5%	0.6%	
のれん償却	—	19	19	—	0.2%	EDA関連の営業権譲受分
広告宣伝費	190	208	18	109.6%	2.6%	IR関連ツール作成費+12、HPリニューアル+12
業務委託費	123	125	1	101.3%	1.6%	
支払手数料	90	87	△2	96.8%	1.1%	
その他の経費	75	70	△4	94.1%	0.9%	
合計	1,750	2,011	260	114.9%	24.9%	

© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

17

四半期別の業績

CYBERNET

2005年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期		第3半期		第4四半期	
売上高	3,834	(+9.7%)	3,457	(+4.7%)	2,613	(+3.3%)	4,721	(+1.7%)
年間売上構成比	26.2%		23.6%		17.9%		32.3%	
営業利益	715	(+1.4%)	456	(△15.6%)	△23	(—)	1,125	(△4.8%)
経常利益	750	(△2.6%)	463	(△17.8%)	53	(△11.9%)	1,233	(+1.1%)
税引前中間純利益	750	(△2.6%)	458	(△18.1%)	53	(△11.3%)	1,191	(+3.1%)

※ () の比率は前年比

2006年度実績

単位：百万円

	第1四半期		第2四半期	
売上高	4,342	(+13.3%)	3,749	(+8.4%)
年間売上構成比	25.9%		22.3%	
営業利益	665	(△7.0%)	508	(+11.4%)
経常利益	686	(△8.5%)	639	(+37.8%)
税引前中間純利益	686	(△8.4%)	627	(+36.9%)

※ () の比率は前年比

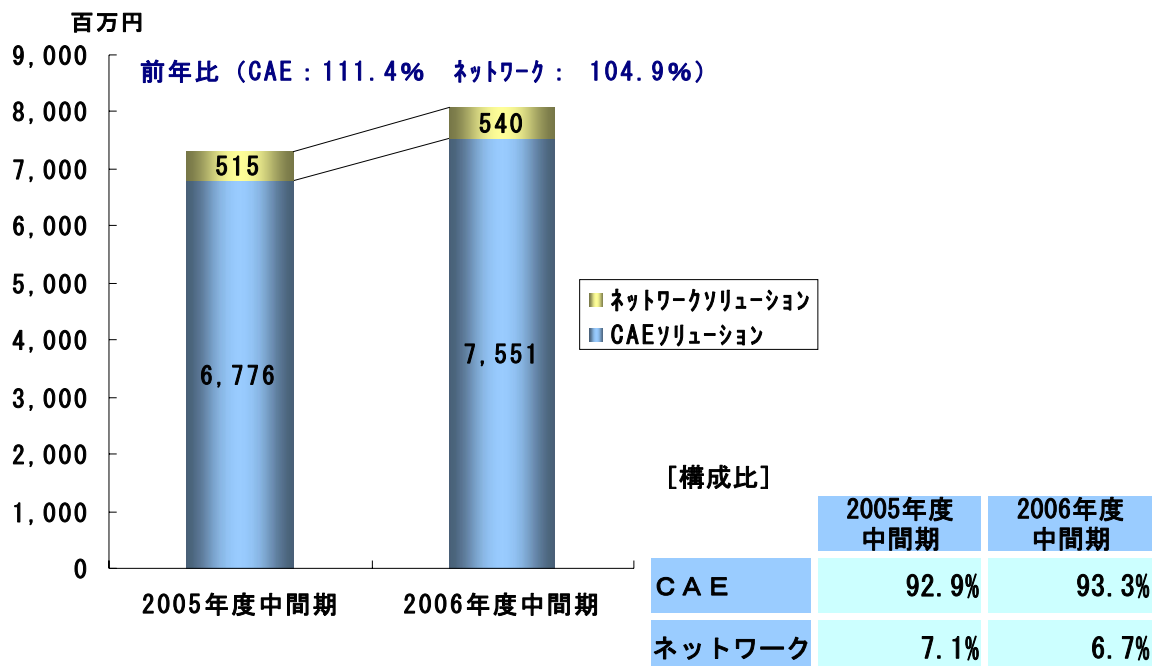
© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

18

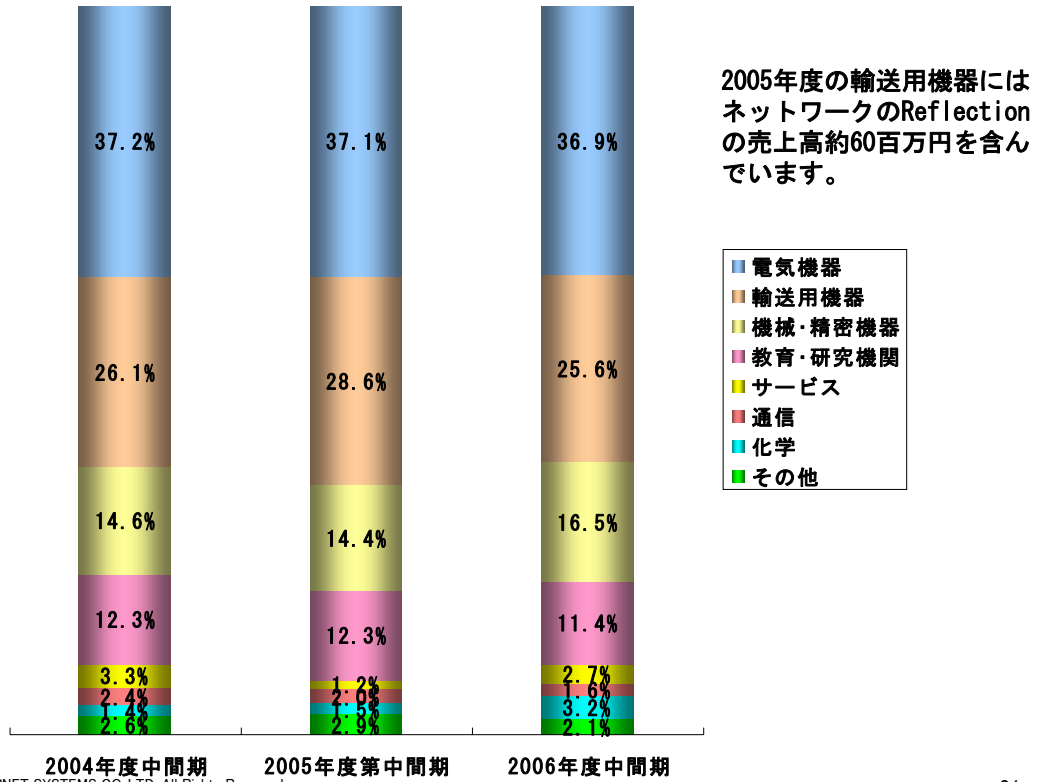
利益分析の概況

◆ 売上総利益増加要因	
■ 売上高の増加	+ 386百万円
■ 為替変動・原価率差異	△ 7百万円
● 為替変動	
✓ 前年比	+ 6.57円/USD
✓ 予算比	△ 1.76円/USD
・ 当中間期平均レート	115.24円/USD
・ 前中間期平均レート	108.67円/USD
・ 予算レート	117.00円/USD
■ 技術サービス原価増加	△ 117百万円
● 技術部門増員	+ 16名
◆ 主な営業外損益	
■ 受取利息配当金	24百万円
■ 為替差益	116百万円
■ 助成金収入	3百万円
◆ 主な特別損益	
■ 固定資産売却益	4百万円
■ 中国子会社CCAへの出資金評価損	△ 13百万円

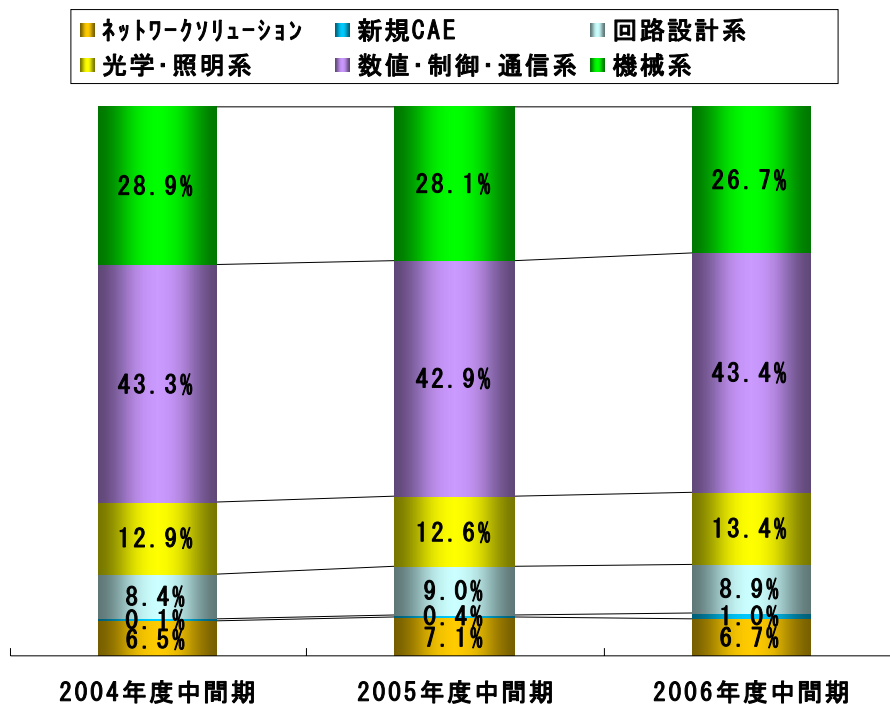
ソリューション別売上高



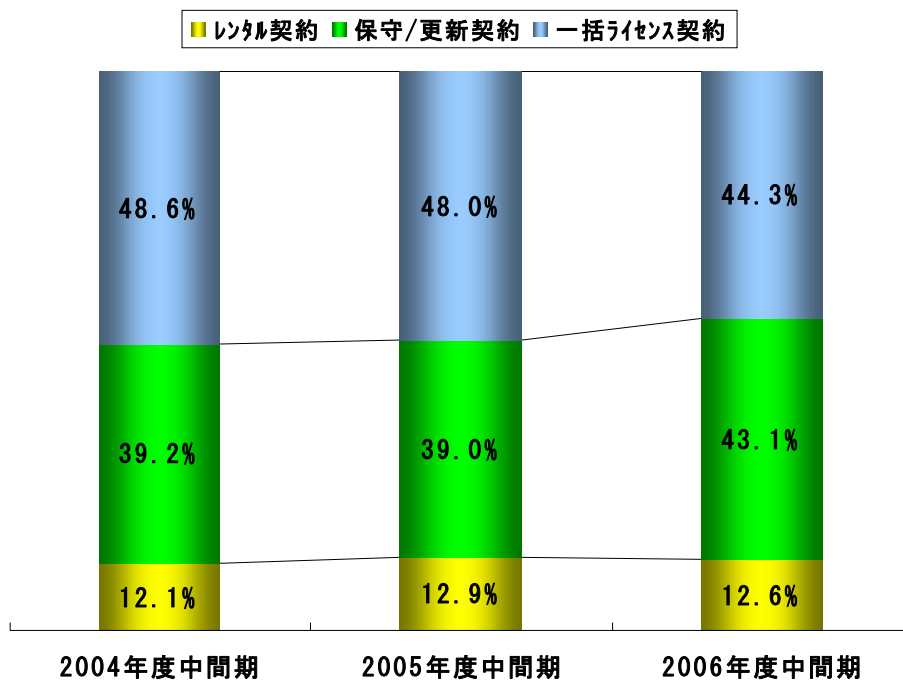
業種別売上高シェア



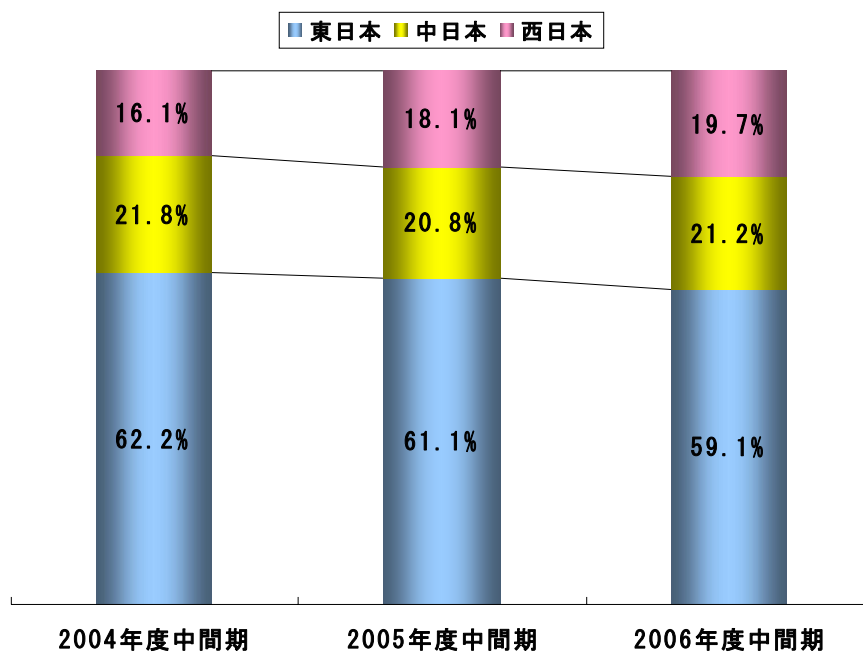
応用分野別売上高シェア



ライセンス契約別売上高シェア

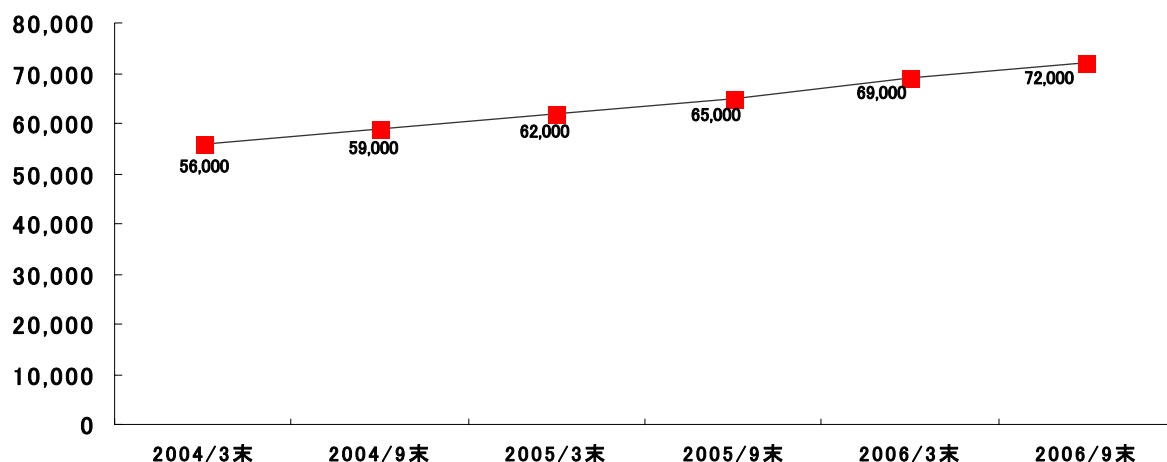


地域別売上高シェア



契約累積ライセンス数推移

CAE契約累積ライセンス数推移



中間配当の状況

	2005年度 中間期	2006年度 中間期
1株当たり中間配当額	700円	700円
1株当たり中間純利益	2,275.65円	2,414.84円
配当性向（中間配当）	30.8%	29.0%

※中間配当金は、当初予想から変更してありません。

- 中間配当基準日 2006年 9月30日
- 中間配当支払開始日 2006年11月27日

◆ 第1四半期

- (株)京浜アートワーク他1社から営業権を譲受けたことにより、プリント電子回路の基板設計、シミュレーション技術の提供が可能となったことにより、EDA分野の業容を拡大。

◆ 第2四半期

- 中国市場において、EDAビジネスを展開するため、上海市に100%出資子会社CCSを設立。
- 国内において、ケイデンス社製のプリント基板設計支援ツール「Allegroシリーズ」の販売・技術サービスを開始。

下期に向けての取組み

◆ 主力商品の堅実な成長

◆ 新規成長商品の更なる拡大

- 輝度・照度・色度測定システム
- マルチプロダクトソリューションの拡大
- PC資産管理管理/ライセンス管理

◆ サービスビジネスの推進

- プリント基板設計分野のコンサルティング、受託
- 機械系分野のコンサルティング、受託

◆ 新規取扱商品・製品の立上げ

- プリント基板設計支援ツール Allegro
- 大規模音響解析ソフトウェア WAON
- MATLAB周辺ビジネス
- バイオ分野（創薬関連）ソフトウェア群
- プラスティック解析ソフトウェアの販売とバージョンアップ製品の開発
- J-SOX法対応内部統制支援ツール Ci-Tower
- epiplexの販売促進とバージョンアップ製品の開発
- セキュリティ関連ソフトウェア群

- ◆ 中国子会社の立上げ
- ◆ M&Aの推進
- ◆ 人材の採用・育成
- ◆ 社内システムの構築
- ◆ 情報セキュリティ推進
- ◆ 環境保護推進
- ◆ 内部統制システム構築
- ◆ コンプライアンス経営推進

2006年度通期業績予想

通期業績予想（連結）

[通 期]

(単位：百万円)

	2005年度通期 実績	2006年度通期 今回予想	売上比	前年比	修正増減	修正 増減比率	2006年度通期 当初予想
売 上 高	17,399	19,200	—	110.4%	△ 1,000	△ 5.0%	20,200
営 業 利 益	2,301	2,440	12.7%	106.0%	△ 240	△ 9.0%	2,680
経 常 利 益	2,548	2,620	13.6%	102.8%	△ 80	△ 3.0%	2,700
当 期 純 利 益	1,503	1,380	7.2%	91.8%	△ 185	△ 11.8%	1,565

連結における通期業績見通しは、次の事態の発生及び予想と、当中間期の業績を勘案し、変更いたします。

[連結業績予想修正の理由]

子会社において、期初に想定していた大口顧客との取引が、当下期から無くなることとなったため、下期業績見通しを修正しております。

[個別業績予想修正の理由]

当社は、2007年上期中の本社移転を検討しております。その決定を当第3四半期に行う予定ですが、その際に移転と同時に発生する固定資産除却損及び現在入居中事務所の原状回復費用を特別損失として引当計上する予定です。その引当金額は、2億円を見込んでおります。

通期業績予想（個別）

[通 期]

(単位：百万円)

	2005年度通期 実績	2006年度通期 今回予想	売上比	前年比	修正増減	修正 増減比率	2006年度通期 当初予想
売 上 高	14,626	16,800	—	114.9%	—	—	16,800
営 業 利 益	2,275	2,500	14.9%	109.9%	△ 145	△ 5.5%	2,645
経 常 利 益	2,501	2,670	15.9%	106.7%	—	—	2,670
当 期 純 利 益	1,463	1,430	8.5%	97.7%	△ 105	△ 6.8%	1,535
1株当たり期末配当金(円)	750	800	—	50	—	—	800

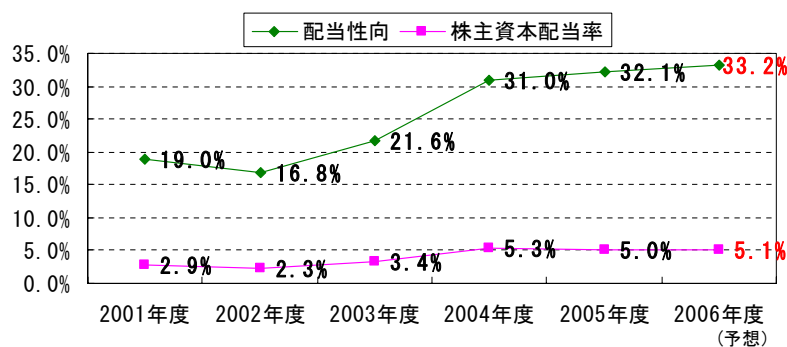
期末配当金予想

CYBERNET

単位：円

	2005年度		2006年度	
	年間配当額	中間配当額 (確定)	期末配当額 (予想)	年間配当額 (予想)
1株当たり配当額	1,450	700	800	1,500
1株当たり当期純利益	4,510.85	2,414.84	—	4,512.98
配当性向	32.1%			33.2%
株主資本配当率	5.0%			5.1%

配当推移



© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

33

中長期事業計画レビュー

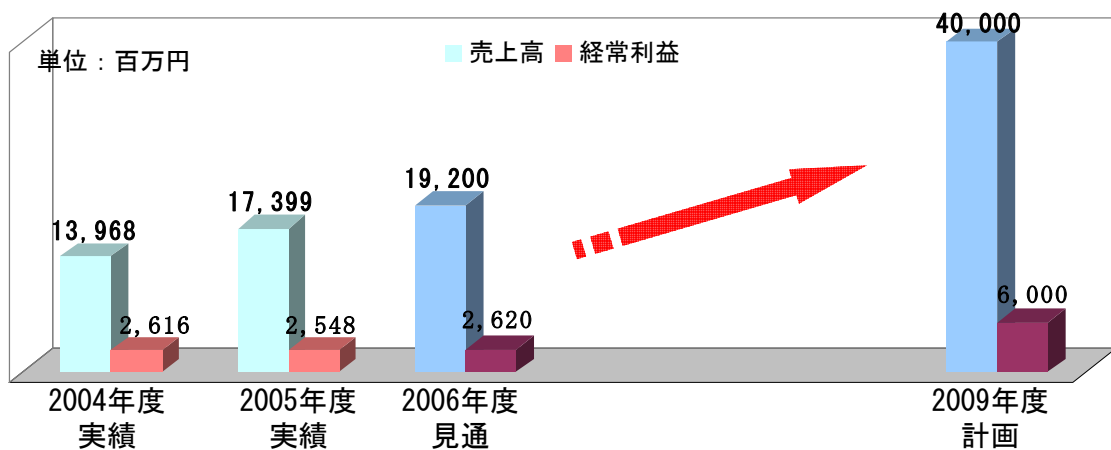
つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

CAEにおける One Stop Solutionの実現

創業25周年を迎える
「2010年度に連結売上高500億円」
の実現へのStepとなるべく取組の実践

単位:百万円

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 計画	2009年度 目標
売上高	13,968	17,399	19,200	40,000
前年比	—	124.6%	110.4%	
経常利益	2,616	2,548	2,620	6,000
売上比	18.7%	14.6%	13.6%	15.0%



進捗状況

- ◆ **新製品・新規応用分野の開拓**
 - 音響解析ソフト WAON販売開始
 - 業務改善ツール epiplexのソースコード利用権購入
 - J-SOX法対応 内部統制支援ツール Ci Towerの販売開始
 - **CAE技術研究室の設置により産学共同研究開始**
- ◆ **グローバル化**
 - 中国子会社CCAの順調な立上り
 - **中国にEDAビジネスを展開する子会社CCSを設立**
- ◆ **サービスビジネスの推進**
 - メカニカル分野における受託解析部門設置
 - **EDA分野におけるプリント基板回路設計の受託解析部門設置**
- ◆ **戦略的M&Aの実施**
 - クボタよりKGTを買収
 - プラスティックCAE開発会社 プラメディアを子会社化
 - **PCB（プリント回路基板）設計業界の技術者集団京浜アートワークの営業譲受**

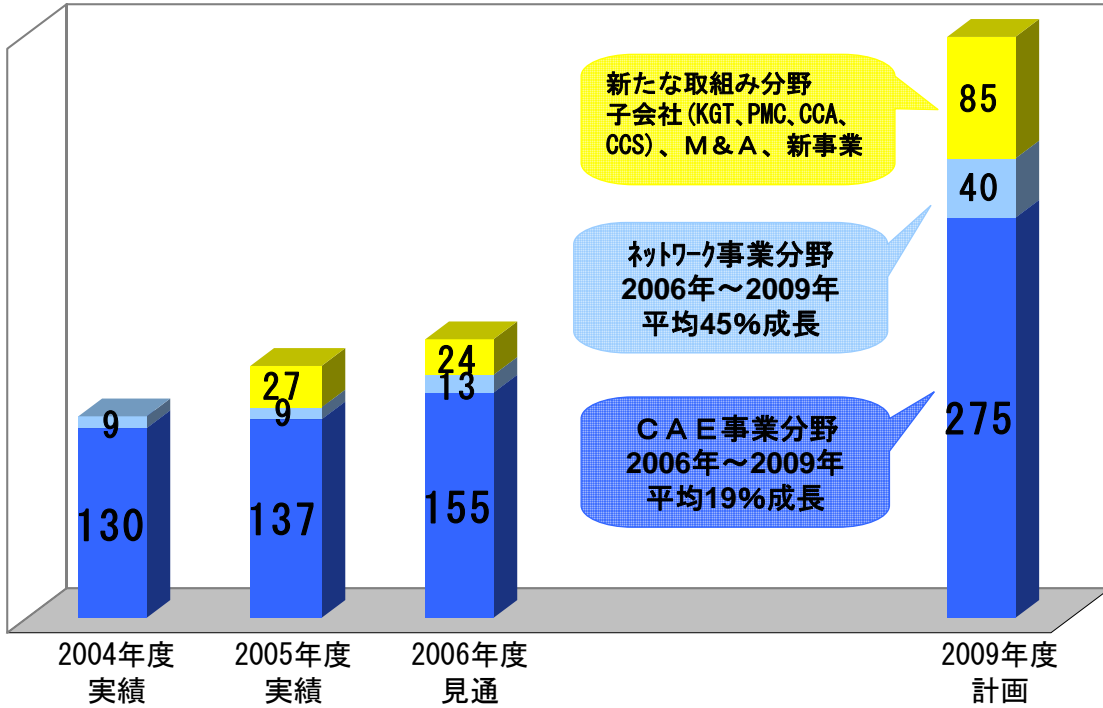
今後の取組み

- ◆ **新製品・新規応用分野の開拓**
 - MATLAB周辺ビジネスの強化
 - マルチプロダクトソリューションの拡大
 - epiplexのCADユーザへの拡販
- ◆ **グローバル化**
 - メカニカル、EDA以外の分野でも中国進出を検討
 - 自社開発製品の海外展開
 - 音響解析ソフト WAON
- ◆ **サービスビジネスの推進**
 - PCB分野のコンサルティング、エンジニアリングの拡大
 - MATLAB関連のプログラム開発、受託解析へ進出
 - CAE Univ. の開設
- ◆ **戦略的M&Aの実施**
 - 今後の成長が期待できるCAEソフト会社への資本参加
 - CAEの周辺ビジネス（試作・実験・計測など）への参入
- ◆ **人材採用・育成の強化**

中長期事業計画進捗状況

単位：億円

■ CAE事業 ■ ネットワーク事業 ■ 新たな取組み



© 2006 CYBERNET SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved.

質疑応答

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

■ 広報室

住所 〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 ニッセイ音羽ビル
電話 03-5978-5404
FAX 03-5978-5441
Eメール irquery@cybernet.co.jp
ホームページ <http://www.cybernet.co.jp>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、

資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。

記載された内容が予告なしに変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET